

## 第13回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議 議事概要

- と き：令和2年4月22日（水曜日）17時30分から18時30分まで
- ところ：本館5階 正庁の間
- 出席者：吉村知事・田中副知事・山野副知事・山口副知事・副首都推進局長・危機管理監・政策企画部長・報道監・総務部長・財務部長・スマートシティ戦略部長・府民文化部長・IR推進局長・福祉部長・健康医療部長・商工労働部長・環境農林水産部長・都市整備部長・住宅まちづくり部長・教育長・府警本部警備部長・大阪健康安全基盤研究所公衆衛生部長・大阪市健康局首席医務監

### 【会議資料】

会議次第

- 資料1-1
- 資料1-2
- 資料1-3
- 資料1-4
- 資料1-5
- 資料1-6
- 資料2-1
- 資料2-2
- 資料2-3
- 資料2-4
- 資料3-1
- 資料3-2

### 【知事】

- ・緊急事態宣言が出されて2週間が経過しました。この間、大阪府の民間の皆さんに休業要請のお願いを申しました。
- ・そして本日、記者会見において、大型の4,000億円の補正予算というのも発表したところです。この間、府民の皆さん、事業者の皆さんに本当にご不便をおかけする中、様々ご協力をいただいているところです。
- ・5月6日まで緊急事態宣言の、この期限を国として決めたわけですから、何とかこの5月6日まで、残りの後半2週間、さらに一致団結をして、このコロナの収束、押さえ込みということを、実現したいと思いますので皆さんよろしく願います。
- ・またそんな中、感染者数を見ましても、新たに大阪で院内感染が、大きなクラスターが発生するということも起きました。新たな課題にも対応しつつ、全体の感染者を何とか抑えていく、そしてそのために、我々が様々な施策等で府民の皆さんをできるだけ支えていくということをしっかりやっていきたいと思いますのでどうぞよろしく願います。

※資料1-1に基づいて、健康医療部長より説明。

資料1-2に基づいて、健康医療部長より説明。

資料1-3に基づいて、健康医療部長より説明。

資料1-4に基づいて、スマートシティ戦略部長より説明。

資料1-5に基づいて、健康医療部長より説明。

資料1-6に基づいて、危機管理監より説明。

【知事】

- ・資料1-2の医療用物資の確保についてです。
- ・これについては、松井市長からかっぱの呼びかけもあって、30万着、多くの寄付をいただいて、本当に感謝の意を申し上げたいと思います。それだけ、一方で医療物資がやはり不足してるんじゃないかという府民の皆さんの心配も大きいだろうというふうに思っていますので、ちょっと確認しておく必要があるかなと思います。
- ・まず今回、必要これで行くと必要数は、N95、防護服、それからフェイスシールド、1ヶ月約30万枚必要で、当面2ヶ月で60万ですけど、この当面2ヶ月、5月、6月分までは、確保できているという理解ですよね。

【健康医療部長】

はい。当面2ヶ月分の確保の見通しが、立ったということでございます。

【知事】

- ・防護服の67万枚で行くと、ここには代用の朝野先生監修で購入したポンチョ28万枚と、あとはその30万枚、ご寄付でいただいた分とは別です。

【健康医療部長】

- ・はい。別で防護服そのものの確保の見通しが立ったということでございます。

【知事】

- ・これが必要とするのは、病院としてはコロナの対策治療をやってる、接触外来56病院ですね。

【健康医療部長】

- ・そうです。56の中でも、この上のN95からフェイスシールド、防護服というのは、基本的には重症の患者さんもしくは、検体採取のときに使っていただく防御体制となりますので、そういった医療機関に重点的に配分することになります。

【知事】

- ・医療機関の現場では、なかなか今まで届いてないという声も多かったですから、順次スピード感を持って配布していただきたいと思います。
- ・ちょっと確認なんですけど、一方で、これまで僕も4月15日に発信をして、いろんな事業者から、こういった医療物資を販売できるよという提案もあって、それが100社、相談が500社か、今100社ぐらいあるんですかね。

【健康医療部長】

- ・はい。お申し出自身は、もう 500 に上るお申し出をいろいろアプローチいただきまして、その中で具体的に商品等のヒアリングをさせていただいたのが、170 前後になります。
- ・今回発注をさせていただいたのが、あの数十社ということで発注をさせていただいております。

**【知事】**

- ・これは、新規にこれが新しく、新規受付は一旦見合わせるってということですけど、今までのその事業者、連絡やりとりしている事業者で、十分確保できるという理解でいいんですか。

**【健康医療部長】**

- ・そうですね。お申し出いただいてやりとりをさせていただいている事業者さんだけで、170 社ほどあるということで、もし今見込みの、例えば商品の確保が滞った場合には、その中から次の発注をかけていくということになります。

**【知事】**

- ・ソフトバンクの孫会長と僕直接、ネット上でやりとりしたんですけど、ソフトバンクも入ってるんですか。そこには。

**【健康医療部長】**

- ・はい。今、個別に発注のところまではまだ調整が進んでないんですけども、お申し出をいただいて、個別に条件の交渉をさせていただいて、あの事業者の中に入っております。

**【知事】**

- ・あと、そのお申し出があった場合は、今後は病院支援向けのホームページに掲載ということは、つまりそのそれぞれの個別の病院に紹介をして、大阪府がいったん取得をして配るといって、それぞれの個別の病院に紹介するというような形。

**【健康医療部長】**

- ・基本は、医療物資はあの各病院で確保していただくっていうのが、本来は本来の姿だと思うんですよ。
- ・大阪府から支援させていただくのは、やっぱり物資が滞った緊急支援という形で、大阪府として 30 万、60 万を確保して支援させていただく、で企業からのお申し出があった部分は、病院にご紹介させていただいて、病院と直接やりとりをしていただいて、各病院で必要分を確保していただくということができないんじゃないかと思っています。

**【知事】**

- ・ここで言う病院支援向けの、紹介する病院っていうのは、56 病院以外の大阪府の多くの病院を含むんですか、それともコロナ対応している 56 病院に限ってるんですか。

**【健康医療部長】**

- ・現時点では、コロナ受け入れ病院に支援サイトというものを立ち上げておまして、そこにいろいろな支援メニューを載せているんですけども、あのコロナの受け入れ病院以外への支援につきまし

ては、各団体を通じて周知を図っていきたいと思っています。

- ・例えば、病院協会であったりとか、医師会等を通じた周知になると思います。

#### 【知事】

- ・例えば、昨日は池田市長なんかが、ちょっと防護服が足りないので、雨がっぱの募集しますっていう呼びかけして、松井市長がうちがあるから、どんどん渡すよって話のやりとりされたりとかしてたけど、そこでいう病院っていうのは、コロナ専門病院のことなのか、いわゆる病院全般の事なのか、病院全般に必要なようになってくるんだったら、例えばこっちであるポンチョとか、そういったものをどんどん回していったらいいと思うんですけど、必要としているのはコロナ専門病院以外にも、防護服とかそういうのやっぱり必要とされてるわけなんですか。

#### 【健康医療部長】

- ・基本的には、コロナ対策としては、コロナ受け入れ病院、あの患者さんを受け入れる病院、もしくは帰国者接触者外来に限定はされると思うんですが、例えば今回院内感染を起こされている病院であるとか、コロナの陽性患者と思わずに、疑似症の患者がたまたま治療に来られたケースというのが考えられております。
- ・最低枚数を、備蓄されるということは必要だと思いますので、それは団体を通じて必要なご紹介であるとか、必要な支給はしていきたいと思っています。

#### 【知事】

- ・別のニュースでは、豊中市の学校の皆さんが、手作りで防護服を作ってたど、足りない部分を出すって話でしたから、それぞれの市町村で、防護服がどんだけ足りないかっていう、どんな状況になってる、ちゃんと把握できてるんですか。

#### 【健康医療部長】

- ・コロナ患者さんの受け入れ病院の需給状況は全部確認をしておるんですが、各病院全体でこういう防護服関係、医療物資全体の過不足状況がどうなのかっていうことについては、十分把握ができていません。

#### 【知事】

- ・そのあたり、コロナの専門病院としてどうしてもやってくれてるとこの必要枚数で医療物資も不足する中で、確保できたっていうのはわかるんですけど、じゃあ朝野先生の監修の防護服の代用になるポンチョ 30万枚とかは、これでいくと外数なので、そういった他の医療機関に、コロナをやらないとしても不足してるのが、全般だとすれば、何かこう回していったりすべきじゃないのかなと思うんですけど、そのあたりどうなんですか。各自で確保せよということになりますか。

#### 【健康医療部長】

- ・そうですね。まずですね、実はこの4月中に病院に配布と、先週までに緊急配布したものと、病院に対する配布がようやくできたのが、先週末からでございます。重点病院にまず、先週、今週、今月末、必要なところに、緊急配布を行いまして、その時点で行き渡り状況を見て、一般病院にも支援が必要かどうかっていうのは様々な意見を聞いてまいります。

### 【知事】

- ・あと、検査体制については、やはり検査をする機関で 900 検体検査できると、頑張ってやってもらった数としても、今多くても 400 件、500 件なので、おそらくその不足しているのは、検査を採取するお医者さんなんじゃないのかなと思うんですけど、それはそう、その理解でいいんですか。

### 【健康医療部長】

- ・検体を現在採っていただいている帰国者・接触者外来というのは、入院患者も受けていただいている医療機関と重なっていることが多いです。
- ・そういう意味では、医療従事者の方にかかる負荷というのを、できるだけ軽くするためにも、検体採取に特化した検査後の充実というのは大変重要だと思います。

### 【知事】

- ・ドライブスルー方式での導入というのを明日から始めるということですが、ここは大阪府医師会の協力も得て実現したということなのだと思うのですが、引き続き最初は初めてのことなので慎重に進めながらも、やはり検査体制が拡大していく必要があると思いますので、また引き続いて大阪府医師会との協議というか、協力は是非、お願いしますということは引き続きよろしくお願いします。
- ・それから、このスマートシティでやってくれた、早速部局ができて、できたばかりなのにこのコロナウイルス対応で、しかもここに新たな施策をどんどん打ち込んでもらって本当にありがとうございます。
- ・今回のこの例えば健康観察をオンライン化するというのは、本当に保健所にとってもものすごく負担だったところが、かなり負担軽減を図れると思います。
- ・入院調整で、どのぐらい病院が空いているかというのを一覧化して共有もできるというのは、ある意味非常に仕事が多くて逼迫している保健所にとっては、ものすごく大きなことだと思いますし、実際その現場からもそういう声を聞いています。
- ・なので、これは多分大阪だけじゃなくて、いろんな全国各地でも同じような現象が起きていると思うので、保健所の人員というのもどんどん補強していますけれども、限りもあると思いますから。ある意味、いろいろ市町村と共有ということですけども、ただ関西の色んな他府県とかどんどん広げていけば、他府県の保健所業務もものすごく軽減されるから、いいんじゃないかなと思うのですが、その辺りはどうなのですか。

### 【スマートシティ戦略部長】

- ・既に他の自治体さんからも問い合わせご相談が来ております。
- ・この医療崩壊を防ぐために、この患者さんも振り分けていくという大阪方式を同様の方式を取られる自治体さんには、このシステムをそのままご利用いただけるというふうに思っていますので、そういうお声があれば是非、積極的にお応えしていきたいと思います。
- ・それと、あと追加で、先ほどの医療資材がどれだけ行き渡っているかというようなお話がございましたけども、これちょっと私の部で引き取りまして、このシステムでコロナ患者さんが入院しておられる病院だけにはなるのですが、このシステムに追加的に入力項目を追加しまして、医療資材のマスクや防護服の行き渡り状況、不足状況というのも、これ病院のネットワークにもなってい

ますので、ちょっとそういう工夫をこのシステムに追加したいというふうに思っています。

**【知事】**

- ・それは、是非お願いします。これまでもそれぞれの病院がどのぐらい不足しているのかというのを聞き取りをしながら、それがリアルタイムではなかなか分からなくて、数日経てば状況が変わるといようなことも続いていく。
- ・これは、かなりの健康医療部の負担にもなっていたし、僕自身も把握することもなかなか困難な状況になっていたので、リアルタイムでどのぐらい足りていないのか、どれぐらいいけるのかというのを、このコロナの対応している病院の中で、把握できるというのはものすごく大きな前進なので、是非そこはちょっとスマートシティ部で進めてもらいたいと思いますので、よろしくお願いします。そういうことできるのですかね、実際。

**【スマートシティ戦略部長】**

- ・はい。承知しました。

**【知事】**

- ・では、よろしくお願いします。
- ・医療従事者の支援で、先ほど定例会見で特殊勤務手当と応援金の話をしてもらいましたが、宿泊場所の確保ということで、アパホテルについては、既に陽性の方が軽症者を受け入れるということでは 800 室のホテルの部屋数があります。
- ・一方で 800 室もあるので、グリーンゾーンとレッドゾーンを分けられると思いますから、直ぐにこの 800 室が陽性者で全部埋まる訳は当然ないので、そういう意味で、医療従事者の無料宿泊施設として非常に有意義じゃないかなと思っていますが、何室ぐらいあるのですかね。確保しているところがあるのですか。

**【危機管理監】**

- ・現時点で5つのフロア、150 室を確保する予定です。

**【知事】**

- ・5フロアで 150 室確保ということですけども、これは大阪市の非常に便利なところにありますが、その医療場所からここに行くまでの移動の手段、ここもタクシー会社とか、色々応援してくれるところがあると思うので、公共交通機関を使ってそこまで行くのも大変だと思いますから。ただ医療場所からここまでのアクセスの仕方というのも、急ぎ検討してもらいたいと思いますので、そこはよろしくお願いします。

**【危機管理監】**

- ・はい。
- ・一部のタクシー事業者が、協力するということを表明されているというような報道もありますのでそういう情報を集めて足の確保、できるだけ努力していきたいと思います。

※資料2-1に基づいて、危機管理監より説明。

資料2-2に基づいて、商工労働部長より説明。

資料2-3に基づいて、危機管理監より説明。

#### 【知事】

- ・資料2-3の施設の使用制限の実効性確保についてですが。
- ・まず公表を伴う施設の使用制限の要請、これは、法律に基づくものになります。これは、行政指導ということになるので、やはり慎重に行う必要があるだろうというふうに思っています。
- ・ただ、感染拡大防止の観点から、だからやらないということではなくて、必要があれば当然やっっていくというような我々の基本スタンスということで進めていきたいと思えます。
- ・その中で専門家の意見を聞くと、感染拡大防止のための最終的な措置なので、それに基づく条文でもありますから、そこは非常に重要だと思えますが、専門家の意見としても、この収容能力の大きな施設というのは、ウイルスの蔓延に繋がる蓋然性が高いという意見ということでもいいですか。業態としては、大型パチンコ店なんかが該当してくると思うのですけれども、そういう理解でよろしいですか。

#### 【危機管理監】

- ・そういう収納の高い施設に強い要請をしていくことは、適切であるというような意見でございます。

#### 【知事】

- ・あとは、やはり任意の協力をお願いするというのが、29条の要請はしていますが、45条2項の前に様々な協力をお願いする努力というのが非常に重要になってくると思うので、電話でのやりとりとか文書とかありますけど、ここで様々な意見も出てくると思いますが、電話での話で納得いただければ、それは休業するということになると思うので、そこは粘り強くやりながら、ただどうしてもそういうのが全く無理というのはたくさんあると思えますから、そこについては感染拡大防止の観点から、専門家の意見も聞いて、45条2項に基づく法の要請、そして公表というのをやっていきたいと思えます。
- ・国との協議も必要ということなので、しっかり国と協議して、必要性なんかも判断した上で、最後は僕が判断しますが、国との協議、それから専門家の意見というのを踏まえて、あとは実務方としてできる限りの現場の努力をした上でということを進めていきたいと思えますのでよろしくをお願いします。
- ・あとは、これ1回電話するというので、電話でどんな対応が、現地確認をして、電話をして、休業をお願いしますよということをごちらから言うことになると思うのですが、それに対してどんな対応があったりするのですか。様々だと思うのですが。

#### 【危機管理監】

- ・本社のしかるべき人に伝えますであるとか、あるいは現在金融機関とその資金繰りについて協議しているの、それまで待つて欲しいとか、あるいはもう営業を続けないとやっていけないので、もう営業は続けますと言い切っている方とか、あるいはもう極端な場合は、大阪府ですというふうにお伝えした途端に電話を切られているようなケースも出てきているというふうに報告を受けています。

※資料2－4に基づいて、総務部長より説明。

資料3－1に基づいて、環境農林水産部長より説明。

#### 【知事】

- ・人員体制ですけれども、緊急事態ということで、それぞれの部局においてコロナ対策業務を優先し、そして人員配置を大きく変えているということで、皆さんご協力に感謝します。引き続きさらに、体制を強化していきたいと思うのでよろしくをお願いします。
- ・今後の大きな体制の強化の一つのポイントとして、4月27日府議会の議決、ご議決をいただければですが、中小企業それから個人事業主の皆さんに対する大阪府独自の施策として100万円、50万円の支給。支給というか、お渡しする。これをスピード感を持って進める必要があります。
- ・この間、できれば金融機関に外注でできないかということを経済金融機関と交渉もしましたが、金融機関も今、非常に融資の相談でいつも以上に忙しいということで、それはお金の問題ではなくて、人員的に金融機関も難しいということですから、これは自前でやるという判断をしました。
- ・大阪産業局が一つ得意分野ですから、大阪産業局とそれから大阪府の職員がやって、そして受付けてやるということになります。
- ・ウェブ等で受付けをするので、まずウェブ受付けについては、スマートシティ戦略部で雛形を作ってもらえるということですから、そこはよろしくをお願いします。できるだけスピード感を持って、簡略化できる仕組みの協力をICTからよろしくお願ひしたいと思います。
- ・併せて、当然、審査業務を伴いますので、大量の人員が必要になります。ここは、もうスピード感が命ですから、ここに対する人員の投入ということについては、これは思い切って投入を是非してもらいたいと思うのでよろしくをお願いします。
- ・判断に迷う事があったら僕が判断しますから、すぐ上げてもらえたらと思います。府民の事業者の皆様、非常にこちらの休業要請をかけている訳なので、それに応じていただいている事業者も大変しんどい状況なので、できるだけ早く届けるためにも、是非そこは人員体制の今後新たに生じるところで、一番大きいところかなと思うのでよろしくをお願いします。
- ・それぞれの保健所等の体制を新たにチームを作って投入してるとこなので、医療体制は引き続き支援を当然していくとしても、それとは違う新たなどこで大きく人員が必要になるのはここであると思いますから、ここにはどんどん人員を投入して、できるだけ早く審査をして、その支援していくということをやりたいと思います。
- ・それから、この3密を避ける大阪府の取り組みはよく分かったのですが、今スーパー・商店街で、やはり買い物で非常にたくさん人がきているという情報も受けています。色々僕もテレビ番組に出ても色々な質問を受ける時あるのですが、そういう質問も非常にやっぱり多いし、現実にそういう色々な話も聞き、現場の話も見聞きをしています。
- ・なので、この間、それぞれのスーパーに対して、協会に色々な店、限られますがライフとかイズミヤとか色々大手は限られるので、そこに要請かけたところですけど、更に強いお願いをする必要があるだろうと、人員いわゆる人数制限等の入場制限等のお願い等もする必要がある状況になっているんじゃないかと思っています。
- ・なので、そのルール作りをできるだけ、これほどこの部が担当することになるのかな。危機管理は担当してもらえるのかな。やってもらって、できるだけ早い段階で、事業者にはお願いをしたいと思っていますので、その辺りはどうですか。



### 【危機管理監】

- ・本日の政府の専門家会議でも、スーパー、それから商店街対策、商店街に対する対策が必要だという意見が出されたように聞いております。それを踏まえて、政府の方でも、具体の対策を考えるとというふうに聞いておりますので、その政府の対策と連携しながら、今まで以上にちょっと強い具体的な要請を考えていきたいと思っております。

### 【事務局】

- ・それでは本日子定の議題は以上でございます。全体を通じてご発言よろしくお願ひいたします。

### 【知事】

- ・緊急事態宣言が出されて、2週間ということで本日も様々な方針を決定いたしました。何とか府庁を挙げて、コロナ対策に取り組んで、府民の皆さんの命を守るということを最優先にやっていきたいと思っておりますし、5月6日以降、できるだけ日常生活を取り戻せるようにしていくためには、やっぱり今が重要だと思っておりますので、全庁挙げて対策をしていきたいと思っておりますからよろしくお願ひします。
- ・また、教育長におかれては、5月6日以降学校の人数が感染者数の経緯を見た上でですけれども、学校の再開ということも、人数が減ってくれば考えていくと、徐々にやっていくということになると思うので、その辺りの学力の遅れということもやっぱり出てきていると思っておりますから、その準備等々もよろしくお願ひします。
- ・徐々にというか、だから今後の2週間の推移を見ないと、再開するとかしないとか、特に今の中では言えないですけど、色んな場合を想定して、シミュレーションの検討だけはしておいてもらいたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

### 【教育長】

- ・はい、分かりました。